満州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

本市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
本市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一 連紙 一連 一圓
一 フールスカツプ 仝 四圓
一 中判洋紙 仝 二圓
一 半紙野紙 百枚 二十錢
一 卷紙 四十枚續 十四錢

一 椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一 書箱 三十圓以上三十五圓
一 卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 卓子掛 六圓以上十二圓
一 厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一 緞毛布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一 長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一 箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一 宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.

一 長期連掲減價面議

發行所 清國營口中盛街 満洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

營口丸 廿四日 太沽、芝罘、門司神戸行
山東丸 三十一日 太沽、芝罘、門司、神戸行
相模丸 六月三日 太沽、芝罘、仁川、釜山長崎、門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話二十六番）

瀛船出帆廣告

鎮海丸 廿六日 門司、横濱行
摩耶山丸 廿六日 門司神戸行
萬成源丸 龍口定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
満洲一手販賣元

松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告

盛航丸 廿六日 門司横濱行

代理店 ブラソン兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋綾子紋緞布手巾花巾洋陡火柴罐表等類價値格外克已並且貨眞價實以安敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所價貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至
總司理人 田中類之助 謹白
開設老爺閣街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘蒙有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 業亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨爐石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許較運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧駕臨本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧内 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒利）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（陸沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 頼朝丸 專往東洋各港

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醤油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧之需
局主人啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨惟交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特佈週知
東 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同内
櫃開設

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書紙各式紙莊票包棉紗料草板紙張以本機器切紙由本五彩印字連墨其他各件紙料一概價廉行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組 木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

工

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候

關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構内（電話四六番）

廣告

今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也

明治三十九年五月二十四日

酒井醫院 酒井榮次
（電話第一一九番）

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頼朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ満州内地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

東京電報

●元老大臣聯合會議

今日午後首相邸に於て各元老大臣聯合會議を開く問題は滿洲經營に關する重要事項及び之れが外交問題等にして長時間に渉り凝議する所ありしが未だ具体的成議を見るに至らず詳細は聞くに從つて報道を怠らざるへし（二十二日午後五時五十五分發電）

雜報

●日英銀行の成立

倫敦に於ける有力なる銀行家十餘名の發起に係る日英銀行の目論見書によれば資本金は二千萬圓にして之を二十萬株に分ち一株百圓とし倫敦に於ける重役は蘇格蘭聯合銀行理事外十餘名、日本にては大倉喜八郎、淺野總一郎兩氏及び顧問役澁澤榮一男にして右三氏の引受株は百萬圓なるが重役たるものは五千圓以上の株券を有するものとし尙英國人を日本の總支配人として渡來せしめ本邦に於ける業務を掌らしむる筈なり又該銀行設立の趣旨としては「當銀行は株式組織を以て現今日本に於ける商業に關する總ての銀行業を營み且つ其保護國たる朝鮮及び東洋諸國に於ける各種の銀行業を經營す」と記しあり言ふ迄もなく低利に外資を輸入するの計畫に外ならずといふ

●米國大統領の任期

米國大統領ルーズヴエルト氏は現任期の終ると共に勇退の決心なる由にて退任後氏は其出身校たるハーバート大學の總長たるべしとの風說傳はりたるも氏尙壯年にして特に活動の氣力旺盛なれば大學總長の地位は氏に取りては閑散に過ぎ到底其堪ふる所にあらざるべしとて親友中には氏に勸めて生地紐育州の元老院議員たらしめんと欲するものあり氏の大統領任期は來る千九百九年三月四日を以て盡くることとなるが現在紐育州の元老院議員プラツト氏の任期も同日に終るを以てルーズヴエルト氏にして意あらば大統領退任の翌日元老院に入り得べしと云へり

●清國幣制の改革

清國は昨年十一月上諭を發し幣制改革を命したるが右は湖廣總督張之洞氏の建言に基くものにて着々實行せられつゝあり其計畫は銀を以て本位貨と爲し庫平銀一兩を單位とし鑄貨は一兩の本位貨の他五錢、二錢、一錢三種の外補助貨を鑄造し從來の當十銅元及び制錢と共に流通せしむるものとし又幣制統一の趣旨に依り從來各所に於て各自經營したる各銀銅元局を左の五大廠に改め其鑄造事業を戶部の直轄となせり

戶部中廠 河南省開封府
同 東廠 廣東省廣州府
同 西廠 江蘇省江寧府
同 南廠 福建省福州府
同 北廠 湖北省武昌府

倘昨年設立したる日部銀行は中央銀行と爲し兌換券を發兌せんとて目下夫々審議中なりと

●稅關の總人員數

淸國に於ける海關はロバートハート氏が總稅務司として經營せしより收支の別整然として擧り已に數十年の久しき其の整理を見つゝあるが今各海關長よりロバートハート氏へ報告したる全淸海關の人員數の表に依れば外國人及淸人を併せ一萬七百五十三人にして其の內譯は左の如し

關內 外人	三三四	關外 外人	七一八
關內 淸人	八六九	關外 淸人	二、八九八
海口 外人	五五	海航部 外人	九六
海口 淸人	六九二	海航部 淸人	五六八
總稅務司	一	副稅務	一
各關稅務司	三四	各關副稅務	二七
郵辦長	三三	頭等同	三三
二等同	四〇	三等同	五六
四等同	八七	書手	六
庶務司	六	醫生	三七

●陸軍の過員整理

陸軍にては戰時特設部隊解散の結果として大尉以上の階級に非常の過員を生じ或る兵科に於ては一階級に一倍の過員を有する所あり此等は聯隊附若くは大隊附等の名義を以て現役に在るも整理を要する次第にて過日の師團長會議の結果として各師團長歸任の上は年齡健康及び執務の成績等を考査し休職又は豫備を仰付けらるゝ筈にて其發表は六月末なるべく其上更に將官の異動をも行はるべしと云ふ

●外資と金融

興業銀行に於て目下取扱ひ居る外資談は地方債二三千萬圓にして日本郵船を始め民間各會社の分を加ふれば無慮一億圓以上に及べるが先頃來倫敦市場の金利頗る騰貴して總ての商談を進むるに不利益なるに反し內地の金融は稀有の緩漫を告げつゝある折柄とて强ゐて取急がず徐々に交涉を續け居れり倫敦市場の金融の趨勢我れに利あるに至れば夫々効果を擧ぐるの秋來るべしと添田總裁は語れり

●威海衛問題

英國公使サトウ氏は唐紹儀と協議し威海衛を清國に還付して海軍根據地と爲し他國へ抵當租借を許さず從來の經營費を英國に辨償し淸兵をして內外人を保護せしむべき條件を以て談判を纏めたりと傳ふ

●樺太の境界協定

樺太北緯五十度境界の決定に關し露國側の委員は既に任命せられてアレキサンドルスクに到り我が委員の到來を待ち居る旨通告ありたるを以て我が參謀本部も大島砲兵大佐以下數名を任命したるが會見所は我より指定するものにて多分アレキサンドルスクに於て最初の會見を遂げ然る後現場に赴く都合となるべしといふ

●溝口少佐の有罪

金州丸の監督將校として敵艦に赴きたる海軍少佐溝口武五郞氏は歸朝後直に所屬鎭守府に於て審問を受くべきものと定められ橫須賀鎭守府に於て十數回同委員の審問を受けたるが此程結審し同少佐は武官の名譽を毀損したるものなりとて海軍々法會議に附するの宣告を受けたる由而して同少佐辯明の要旨を聞くに海上に於て全然戰鬪力を有せざる陸軍々人の爲に敵艦に赴き砲擊を免れしめんとしたるも其目的を達せず直に敵艦內に拘禁せられたるものにて降服の意思を以て敵艦に赴きたるものにあらずといふにありと

●南樺太の炭礦

南樺太に於けるセルトナイ炭礦は北緯五十度以南十八里の處にありて去る明治廿五年の頃露國政府に於て試掘し其後之をマコフスキー商會に拂ひ下げたり然るに坑夫缺乏の爲め收支償はず三十一年に至り廢業するに至りしが今回炭質分析の結果頗る良好なるを發見したれども炭層多量なるや否やは今後の調査によらざれば不明なりと此外西海岸及東海岸のマグンコタンにも二三の炭礦あるやに傳ふる者あり

●淸國留學生の動靜

淸國留學生の文部省令反抗運動は昨夏一時落着し各學生も夫々復校して學業に勉勵したるも不規律の生活に馴れたる彼等は學校生活の嚴格なるを厭ふてか昨今再び文部省反抗の氣勢を示し居れり此度の反抗運動には先年の如く單に文部省令を撤去せんとするものと又文部省は從前の省令を改正して多く留學生を束縛せんとの計畫中なれば今にして之れが防禦をなさゞれば淸國留學生の權利を毀損する甚だしきものありとて之れに對する反對運動をなさんとするにありて兩派とも秘密に作戰計畫を講じつゝありと云ふ左れど文部當局者の談ずる所にては文部省は淸國留學生が如何なる反抗運動をなすとも從前の省令は決して撤去するものに非ざると同時に之れに改正を加へて一層彼等留學生を束縛せんとする如き計畫は全然之れなしとのことなり

●遼陽雜俎

▲或る席に一紳士滿洲經營談をなす辯舌滔々議論明確引證又的切能く滿洲の微細を穿つ此一紳士を誰とかなす曰く盛京省將軍何と顧問樂昌圖株式會社の營業部長原十目吉氏其人也▲督府の移轉は遼陽の打擊と言ふ勿れ事實は反對商界頓と活氣の兆あり昨今廢窟の繁昌餘喘は正に之を證するにあらずや▲遼陽に其人ありと知られたる日本人會長海南右門氏の風貌紋白根男に酷似す唯其異なる所は身幹白根男に及はざると顏半面の黑痣なるのみ▲頃日日本人會總會に口を開けば醜業婦〳〵と評なく怒鳴る露骨議員あり多くの會員否な料理店御亭主爲めに閉口相顧みて苦笑一番するのみ▲近頃新來の劣貌日に聲名を以て歡ふ花柳界の誤得意想ふべしされど是れ過渡時代の一變象早晩恐慌は免れじ皆さん緊褌一番注意が肝要▲或るドクトル大風呂敷を擴げ天下の刀圭家其の足許にも及はざる慨あり然るに昨今怪敎を收めて意氣悄然其何故なるやを知らす▲酔士憤慨して言ふ遼陽旅亭の酒肴料舊に依つて舊の如く頗る高し値下をせぬやと成程値下の必要あらんかなれど要は酒肴料の多寡よりも行かざるに如かず行かざれば自然安くなる譯▲日本人會々費一戶二圓と爲る商店の大なる有馬組代々木商會すらも二圓僅かに一戶を保つ善哉屋も二圓サリトハ餘り懸隔なさ過ぎると一部人士の不平談御尤に聞ゆ▲月に六回二七檢査日の街上光景は如何粉黛盛裝せる魔物の車上これ見よがしに顧盼して過ぐる面惡さ余は提議す風俗取締上箱馬車に容れ往復さすれば最も妙▲ラムネ製造所一ケ所生る一は林洋行一は時枝商會夏季の飮料用此に仰ぐもの多からん切に望む競爭を避け成るべく誠實衞生を重んじて製造に努めよ▲米國大震災を救濟するやにて日本人會は慈善演藝會を開催すると聞く宜しく此の機を逸せず熱の失せざる間に開催せよ余は此の美擧の幽靈に了はらざらんことを祈るや切（綠城）

●暹羅國皇族の來遊

我大觀兵式參列旁觀光の爲め御來遊中なりし暹羅國皇族ナコンチャイシ殿下には去る十一日東京御出發後十三十四の兩日は京都ホテルに御滯在同地各名所御巡覽大阪へ成らせられ第四師團御巡覽十七日廣島なる第五師團十八日吳軍港御覽後馬關より御乘船御歸國の途次滿韓御視察を思し召され韓國經由廿三日午前十時三十五分安東縣に御安着該地にて二泊の上奉天に向はせらるゝ筈なりと其筋へ電報到達せりと云ふ

●銃器販賣營業の許可

關東總督府管內に於ては是れ迄銃器販賣の營業は絕對的許可せられざる所今度其禁を解かれ確實なる商人に對しては獵銃及拳銃其他附屬品の販賣營業を許可せらるゝ事になりたりと云ふ

●火災損害高（五万余圓）

一昨日興順魁倉庫より出火せし事は逸早く讀者に報道せし所なるが今其出火の原因を聞くに五六日以前上海より油紙包の白布を輸入し倉庫內に堆積し置きたる所外包なる油紙中には餘程古き油紙ありたる爲め多分それより磨擦して出火したるものなりと而して燒失家屋は間口二十間奧行四間の平家建煉瓦造の倉庫にして全く該倉庫一棟は燒盡し從つて庫中の物品白布三百梱四千八百圓大豆十石百圓麵粉七百袋一千四百圓盡く烏有に歸し之れに倉庫一棟一千二百圓合計損害高實に五万七百五十圓なりと云ふ

●大島總督の寄附（本願寺慰問部へ）

本派本願寺が戰役中及び戰役後滿洲に駐屯せる軍隊慰問に從事し多大の力を士卒の慰安に致したるとは世人の夙に熟知する所なるが關東總督大島大將には今回其功績の顯著なるを思ひ特に金一千圓を本願寺軍隊慰問部に寄附せられたる由にて昨日大連本願寺慰問部より當地本願寺出張所へ電報ありたりといふ

●遼陽官煙賣捌近況

遼陽に於る官煙一手販賣店代々木商會昨今の賣捌狀態によれば一日賣上金高百五十圓內外にある由なるが前日多きは五六百圓少きは二百圓にして昨今著く減少したるは遼陽手票相場の變動に基因せるものにて其故は遼陽淸商間は大小となく該手票を以て諸般商取引に使用するものなるが時に相場暴騰低落して一樣ならず昨今は恰も低落して軍票時價に及はす然るに代々木商會は一切軍票を以て取引をなすが故に淸商は何れも手控へそれが爲め昨今は賣捌捗々しからざる次第なりと而して淸人の嗜好に適するはロングライフを主とし此に次いてリリー、チエリー、ゴールデンバツト、オリエントなるがオリエントは邦人の嗜好に適しおれば將來に邦人側の需要も多かるべき見込なりと云ふ

●木下氏歡迎會

豫報の如く臺灣日々新聞主筆木下新三郎氏歡迎會は昨日午後七時より日本館にて開催せり會する者總て同氏に緣故を有する人廿余名にして配膳用意成るや來原小樽氏一同を代表して歡迎の挨拶を述べ木下氏の答辭ありて夫れより酒宴に移り數名の紅裙杯盤の間に周旋し數番の餘興と共に各自の隱藝等ありて和氣靄々談笑溢るゝばかりの盛會にて主客各々十二分の歡を盡し散會したるは午後十一時頃なりき因に同日は紀念の爲め同館門前に於て一同撮影せりと

●本願寺の降誕會

既記の如く當地本願寺出張所に於ては去る廿日には晝夜兩回御本尊の紐解法要說敎あり又翌廿一日には晝夜兩回に於て開祖見眞大師の降誕會法要說敎を修行せられたるが當日は朝來熱心なる信徒參集し大石橋守備隊の有志軍人より特に寄贈せる松樹の新綠を以て入口に花門を作くり球燈を吊るし又佛前には這回新着の莊嚴なる佛具を裝置し豫定の時刻には寺本布敎師は宗敎上の大禮服を着して嚴肅なる讀經あり次で懇篤なる說敎ありて來會者に多大の感を惹起せしめたり幸にして兩日共に好天氣なりしと出張所の普請落成せしを以て有信の信徒遠近より參會せりといふ

●酒井病院の移轉

西北街の同病院は近來患者頓に增加し現在の家屋にては非常に狹隘なるを以て今度元宅合名會社支店跡に移轉したりと云ふ

●木下新三郎氏の出發

豫て來營中なりし臺灣日々新聞主筆木下新三郎氏は昨朝關內外鐵道に由り當地出發天津に向へり

●頭陀袋

人間に形式的階級のあるは色に黃紅白紫の別あるが如きのみ若し人ありて黃よりも紅がエラク紅よりも紫がエラシといはゞ誰かその滑稽に抱腹せざらん而も俗人は判任よりも奏任はエラク履よりも本官がエラシとして敢て怪まざるは何ぞや甚しきは官吏は商人よりもエラク治者は被治者よりもエラシと威張る噫斯る感念の拔けざる者には到底形而上を語るべからず而して今の日本人はサテ如何（エライ人）

投書かご

▲もし〳〵憲兵さんにお願申します軍政署附近の道路には始終水が撒かれるので近頃の風でも餘り塵埃も揚りませんが西の方は如何であらう（歎願生）▲昨日の午後二時頃の事春風徐に吹き來る折しも三人の紅裙郵便局より一個の小包を受取り左も重もさうに抱へ行く折から春風忽ち妬氣を起してや一陣の烈風女連を掠むれば懷中の紅紙風のまに〳〵吹き散らされて軍政署前時ならぬ落花狼藉の奇觀を演じ三人の紅裙唯だアレ〳〵とうろつき居たりしは滑稽であつた（實見生）▲支那人は現金主義だといふ事を聞いて居たが昨日の火事で盆々其現金主義なのに驚いた苦力が水を一荷づゝ運んで來ると興順魁の掌櫃らしきが現金で十錢と引換に其水を以て焰々たる火中へぶち掛けて居た（見物の一人）▲公衆電話の開始は營口の進步を意味する我々に取りては非常に便利に相違無いが手續が面倒なので日本內地のやうな白銅一個を投げ込んで濟むといふ譯に行かぬ隴を得て蜀を望むといふが自分は今正に其感がするのである（望蜀生）

●人の噂（七）

營口、大連、而して旅順を比較するに、旅順は無論ボコペン、營口と大連は、遼河と鐵道の措擧如何で、運命定る、大連は天の時を得て、營口は地の利を得て居る、孟子曰く、天の時は地の利に如かず、杜子曰く、地の利は現ナマに如かずと、孰れでも現ナマ主義を振廻して、鐵道でも遼河でも經營する方が勝利だ▲今度滿韓視察に來た、臺灣日日新報主筆の木下大東は、盆槍て（表面）上品で、無邪氣で、恰も華族の樣だ、諸同人は、渠を諢名して大東子爵と云ふ▲大東殿御本職の文筆は、勿論我党のチャンピオンで、云はもずがな、又た餘程多能の男にて、書は功臨池ありて頗る見事、圍碁は段以上 恐らく營口に敵手はあるまい、殊に花柳の大粹、營口滯在中に、薬唄（二上り）を作り、踊の手を付け、某妓に敎へた、其の唄を一寸紹介しよう「あつまはなれて牛莊住ひ、色も浮氣も忘れていたが、ぬしの玉づさ見れば、都が戀しいわいな」あの山越へて海越へて」▲都樓の米八、序に臺灣藝妓二匹を紹介しよう、義太藝者の豪の濟名は小勇、本名は瀧川とく、日本館の喜代八、牛玉として浪龍、一本となりて若玉、喜代八、藝妓として末吉、變り變りて元の喜代八、藝も其名の數の如く、何でも御座れの多能藝妓、斯二人は妓界のチャンピオン、大東の如く恐らく營口に敵手はあるまい

●營口と牛莊

營口と牛莊とは何うも世人に誤解せられてならぬ營口に來て見れば營口と牛莊との同一處なるとは誰人も疑はないがまだ日本內地では之を全く別のものと心得て居る此間も或知人が內地の二等郵便局に往つて營口迄りの小包を出さうとしたら局には牛莊へは開始したが營口は未だと謂つて到頭受付け無かつたさうな又汽船の出帆廣告にも單に牛莊行と書いてあつて營口行と書いて無いので出帆期日を間違ひ船待の爲めに飛んだ時日を空費する者が往々にしてあるさうな何とか誤解を防ぐ方法は無いであらうか（東山坊）

狂句 直木まつ子

リヨウ河とはいへど不良な泥の水
築港といふも道理ぞ河岸の苦力
トロの苦力オレの强いが自慢なり
兩輪の如し何の事だと一輪車
鼻持もならずニンニク苦力の宿
支那時間人智と同じおくれて居
下る程其名は高しチヤンの髮

汽車時刻

關內外鐵道

上り
營口發 前八、三〇 七、〇〇
溝幇子同 九、四五 九、〇〇
錦州同 后三、四五 二、〇〇
山海關着 六、〇〇 八、一〇
山海關發 前八、一五 五、〇〇
[illegible]

下り
山海關發 前七、〇五 四、四五
錦州同 后三、五五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口着 四、五五 七、五一
北京發 前八、〇〇 [illegible]

東淸鐵道

上り
營口發 前六、三五 后九、三五
大石橋着 同七、三〇 一〇、三〇
大石橋發 前八、〇五 后二、〇五
新民屯發 前六、〇〇
溝幇子着 同九、[illegible]

下り
大石橋發 前八、一五 后一二、一五
營口着 同九、一〇 三、一〇
大石橋發 前七、五五 后一〇、五五
溝幇子發 后五、〇〇
新民屯着 同八、[illegible]

諸鐵工製作
鑛山 船舶 機械 鐵工 郵便 鐵道 附屬 鐵工 土木 建築 用 材料
營口 ハウス 紋ロ 定商 門會
川喜 鐵工

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ひ
營口二本町 梅廼 田村瀧太

西海洋服店
歐米各國最新流行形
（電話百二十七）

天氣豫報

營口地方天氣豫報
南の風晴れ
自二十三日午後六時至二十四日午後六時

雜報

●野村技師 滿洲視察談

▲滿洲在留邦人　余は一昨年秋滿洲を旅行したるか當時は戰爭中にもあり邦人の猥りに出入するを得さりし故當時の狀況と今日とは全く一變し日本人は到處に散在し大連に於ては約六千人の日本人あり奉天にも四千人程ありて多く商業を營み雜貨飮食を商ふ者最も多く鐵嶺は今回視察せさりしも近來各方面より同地に到る者頗る多く殊に旅順より移居する者最も多數なる如し

▲京義及奉安線　京義鐵道の軌道は京釜鐵道と同しく四呎八吋の廣軌式に依り建設せられたるも當時最も急速を要したる爲め今日に於て尙ほ幾多の改築を要する所あり目下勾配を緩にし最急勾配三十分一を百分一に改築しつゝあり安東縣より奉天に至る輕便鐵道は延長哩數百八十哩に達し居るも現在の輕便鐵道に於ては隧道を設けす丘陵の麓を迂回し居るの有樣なるが故に他日改築の場合には約二十哩を減し百六十哩內外に短縮せしむるを得へし

▲東淸鐵道　は今後歐米の廣軌式に改造すへきや否は目下尙未定なれとも若し四呎八吋に改造し淸國及韓國の諸鐵道との聯絡を保たしむる場合に於て其改造の費用は決して少額にあらさるへく單に軌道の改造のみなりせは現在の枕木を替ふるの要なく唯ゝ其軌道の幅員を擴くれは足る故其費用も左して多額を要せさるへきも之と同時に車輛を改造若くは新造するの經費は中々尠なからす其他停車場及鐵道從事員の宿舍等の設備にも少なからさる費用を要すへし又同鐵道營業上の點に於ては滿洲に於ける豆類其他の穀物の輸送頗る多額に達すへければ收利は案外に多かるへく遼河との競爭に於ても決して憂ふへからさるか如し

▲撫順の炭坑　は有望の炭礦なり炭質宜しきが上に炭層百三十尺に達し幅千尺にして其長さ東西八里に亘れり目下一日四百噸內外を採掘し居れり尤も今日の設備にて右以上の採掘を爲し得へきも販路なき爲め所要の量を充たし居るのみ今後尙ほ相當の設備を以てせは一日四五千噸を採掘し得へし又採掘費は一噸約三圓を要し之を鐵道に依り大連迄即約三百哩を輸送すとせは其運賃は一哩一錢內外として一噸三圓に達すへし

▲大連の設備　滿洲鐵道の經營に伴ふて大連は自ら相當の設備を爲さゝるへからす目下大連には棧橋を架設しありて兩側に三四千噸の船舶六隻を繫留し得へきも鐵道との聯絡なく又起重機倉庫等の設備も無けれは是等の設備は今後に於て最も必要とすへく其費用も亦た尠なからさるへし尤も倉庫の如き陸軍糧秣倉庫の設けあれは他日不用に際して自ら之を利用し得へし云々

●酒鄕の三豪傑（伊東、東鄕、上村の三將）

豪傑と酒とは古來因緣淺からず明治の一偉人たる伊東、東鄕、上村の三將軍も亦大酒豪の數には漏れないで長鯨百川を吸ふの槪がある小さな訟でチビリ〳〵と叩るのが嫌ひで飽迄も軍人的、大盃の滿を引いては能く飮み能く語るの豪快な態度は飽まで豪傑の資格を備へて居る而も酒興は加はつても驕慢ならず貴賤老幼を問はず笑顔嫣乎に溫情溢れる言語を掛けられるのが常である

▲醉中の態度　伊東元帥は元來活潑の性であるが醉えば益ゝ調子が輕く「元帥閣下はなか〳〵愛嬌ものぢや」と言はぬ者がない位、諧謔口を衝ひて出で二言目にはドット人の頤を解かれるのが常である**東鄕大將**は醉ふて居てもしらふでも同じ体度で背をこゞめて頭を垂れ氣味の俯目勝四角に折つた膝の上に整然と手を組み合はせてにや〳〵と笑つてゐられる殊に和服を着た風は**田舍老爺**そつくりで、能くこれで那麼ナ勳を樹てられたものかと疑の念が起こる位である、けれど其眼光は炯々として人を射てゐる醉中**上村中將**も非常に面白い磊落な人で、思ひも寄らぬ**多藝**である、甚句でござれ、都々逸でござれ、詩吟軍歌は言はずもがな、中にも土地自慢の薩摩琵琶は大の得意である

▲二將軍の謙辭　此頃三將軍相携へて信濃に遊び中津村の田舍家に一泊された其夜の宴席で座に侍る人が口々に東鄕大將の偉功を賞賛すると**謙遜な大將**は否なと膝の手を揚げて其語を遮り『皆上村がやつて吳れたのぢや』と功を上村中將に讓れるゆかしさすると上村中將は躍起となり『左樣ぢやない』と打消された此問答を聞いて誰れも一種の感に打たれぬ者はない、斯くて其等の人は又上村中將の偉功を賛へると中將は屹となり『こういふ宴席で戰爭話は不可ぬ、春風堂に滿つといふ格にやらなきやなりませんぞ、さあ一盃』と盃をさして言語を次ぎ『皆樣は戰勝の勳功は軍人一人で持つて居る物と思つて居られるが其は大間違ぢや、そりや戰爭は我々の手でやるのぢやが、軍人計りで戰爭が出來ませんぞ我々の後に國民の援があつて初て戰爭が出來るのです、擧國皆兵！眞に其通りぢや、算盤を手にせる人も、鍬をとる百姓も筆を執れる人も皆間接に戰爭をしてゐるのぢや、今日當家へ來る道で見た腰の弓のやうに曲つてゐながら麥畑を耕してゐた老爺も立派に戰爭をしてゐるのですぞ』と言はれると隣りの東鄕大將も『其通りです〳〵』と二三度大きく頷かれた

▲酒中の新聞談　醉ひて益ゝ氣焔の高いのは上村中將で誰れ彼れの差別なく胸襟を開いて快談される『君は日本の新聞の初りを知らないであらう、否それ計りは知つてゐる人が少いやうだ、新聞は明治になつて出來たのでなく、慶應年間已に薩摩で出來てゐたのだ、あの昌平館……いや昌平黌でない昌平館といふのが異個の名だ……僕が未だ昌平館に居た時分にすら其橫手の松原で水戶の浪士が仇打をした事があつた、すると其翌日に其顚末が版木に刷られて賣出された、併し紙の格好は今の樣に大きくなくて半切に印刷したのぢや、それから事が起れる每に屹度發行されてゐたが、私はこれを**日本の新聞の元祖**と思つてゐる』と語り更に『君は未だ年齡が若いねえ、私は恁ういふ積りぢや』と音吐朗々『五十、六十は鼻垂れ坊主男盛りは先づ八十』と口吟し盛んに新聞記者の任務を說き談は進んで新聞記者資格論に『入つた世間の人は新聞記者を呼んで新聞屋といふが、今日の日本は遠くに那麼時代が過ぎてゐる笑だ、新聞記者が新聞屋といふなら自分は軍人屋だ、古い事だがある新聞記者と自分が軍人屋、新聞屋の事を話して笑つた事がある』といと熱心に語られた

新作小說 **おとし胤**　德田秋聲

作者病あり續稿未だ到らず數日休揭

●あはれ　醉雨子

予は十三歲で小學校に通ふて居る時の丁度五月雨の最中であつた、四つになる妹が恐しい傳染病に罹つて我が地方のあらゆる醫者には已に見離されて只だ死を待つ計りの危機に迫つたのである、傳染病だといふので親類や隣家の人の出入りが固く封鎖されて了つた、家內はヒツソリとして極く淋しい光景である、況して五月雨とさて居るので一層凄いやうな氣がする

十六日の朝から暗き空はシヨボ〳〵と降り續く午後八時頃妹の苦しき吐息が聞える、父母は始終看護して居るので五晝夜と云ふものは眠らぬのである、予も三晩はパチリともしないから隣座敷で一寢入り仕樣と權になつた計りであつたが、俄然、母の聲で父と予とを呼ぶ

もう今呼吸を終く處だと言ふので、せめて死ぬる迄も今一度醫者に診て貰ふべく父の命に五六軒向ふの醫者に來診を請ふたが、迚もダメダ、モウ二三十分しか保ぬと云ふて藥も何にもくれぬ、父も、母も、予も、弟も身を藻掻く計りに燥急れとも如何せん、死を待つ計りの果敢ない有樣となつたのである

果して二十分程して非常なる苦しみの後に到頭呼吸を終きとつた母や弟は聲を擧げて泣いて居る、父も予も聲こそ出さねが愁傷の情は泣き伏すよりも甚しいのである

親類や隣へ知らせに行く、今夜の中に埋葬せよと云ふ、死亡屆や何かは巡査や衞生係とが雜作なく濟してくれたが、其の混雜は一通でなかつた。

兎角する中に麤末な棺桶が出來てきた、外に葬具を整ふ遑がない、否遑がないのではない普通の病死でないから、早く埋葬せよと詰めかけらるゝのだ、母はもの足らぬ顏をして尙も泣き沈んで死骸に取付いて居る。

父と、親類と、予と、弟と、巡査と、衞生係と淋しい人數が寺へ着いた、讀經、燒香も濟んで棺を墓地に舁いでわく聽て容赦もなく我が眞先よりの墓所に葬つた時弟は無限の感慨に挨れて憔悴めた予の顏をジツト凝視めて果は打俯して了つた、

一同悄然として家に皈つて見れは、洪水の後の樣に寂寞として只時計の針の刻む音のみ聞ゆるのであつた。

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

來ル廿五日ヨリ貨物輸送料金ヲ改正シ尙來ル六月十五日ヨリ小荷物ノ取扱ヲ開始ス

明治三十九年五月二十一日　野戰鐵道提理部

貨物輸送料金

一通常扱　百斤一哩ニ付銀五厘
一貸切扱　並品　一噸一哩ニ付銀五錢　高價品　仝　銀七錢　礦屬品　仝　銀二錢五厘
但並品及礦屬類ハ大石橋大連間ハ一噸一哩銀貳錢トス
一生獸類（斤量ヲ以テ運送セザル場合）一哩ニ付運賃割合
牛、馬　二頭迄銀二十錢、以上一頭ヲ增ス每ニ銀五錢
駒、犢、羊、豚、驢　六頭迄銀二十錢、以上一頭ヲ增ス每ニ銀二錢
犬　一頭五十哩迄銀三十錢、以上五十哩若クハ其未滿ヲ增ス每ニ銀三十錢ヲ加フ
一車輛類　自轉車　一個ニ付一哩銀二錢　人力車　仝　銀五錢　荷馬車　仝　銀二十錢　馬車　仝　銀三十錢
一死体　一個ニ付一哩銀三十錢
一特產物ニシテ多量輸送ノモノハ特ニ賃金ノ割引ヲナスコトアルベシ

手小荷物輸送料金

一小荷物料金ハ一斤ニ付五十哩迄銀一錢五厘、以上五十哩若クハ其未滿ヲ增ス每ニ一錢五厘ヲ加フ
一無賃輸送制限外ノ手荷物料金ハ前項小荷物料金ニ依ル

右ノ外貨物及小手荷物輸送ニ關スル詳細ノ取扱方ハ停車場ニ揭示ス

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向ヒ　池上出張店

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

大勉強

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號　翁亭

競賣廣告

一品目　罐詰入箱二十八函
一時日　明治卅九年六月二日正午入札即時開札
一場所　平安組第一倉庫院內
明治三十九年五月二十四日　平安組倉庫部

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

實業記者一名募集

但し二十五才以上四十才迄の男子にして志望の者は本月廿八日迄に履歷書を持參し本社を訪はれたし

五月二十二日　元神廟街四十四　滿洲通信社

小生儀今朝出發旅途に上り候貴地滯留中は種々御懇訓を忝し殊に鄭重の御招待に預り奉深謝候一々拜趨御告別可申上處行李匆々畧儀乍ら紙上にて御禮申上候　敬白

二十三日　木下新三郞

旅館　東京樓

營口中央市場前　萬事勉强乘車乘船好位置
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

瀛船出港案內

盛航丸　廿六日出帆門司直行橫濱行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

商船會社荷客取扱所　內外船舶代理保險貸借仲立　輸出入稅關手續　解船人夫運搬請負　諸品委托賣買　水陸輸送貨物仲次所　倉庫業

西北街　德重洋行

今有賓州廳之東老營口街永增盛郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見付條錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

和洋雜貨　新着

椅子　卓子。窓懸。卓懸。花蓙。マツト。油多加織。ビロードセン。

盛進商行

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社
營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關内外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路攝要各站分局現方在設備中
倘蒙運貨客愛顧務祈貨客親自到本明房及各處分局棧房面議爲荷特此謹白
倘於途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補

第二回新荷着
惠比壽ビール
YEBISU
TRADE MARK
登録商標
DAI NIPPON BREWERY CO. LTD.
TOKYO JAPAN
大日本麥酒株式會社
金舛洋行
盛進商行

御料理
板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ雪月花ノ會席ト仕餘打テ一團ノ御意ニ從ヒナンデモダスヘ
ゲンシン
ピヨガイ
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや
まつのや藝妓
全　松吉
全　三〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

千客万来

イロハ索引附
小繼　來原慶助君著
對譯清語活法　全
附錄　支那時文速知
袖珍用旭皮表紙頗る美釘紙數三百餘頁
（定價金五十錢　郵稅金六錢）
此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黒木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは已に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらる、の同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを
東京市神田區裏神保町一番地
發行處　三省堂書店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東淸鐵道　遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
内外煙草、葉巻
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醤油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
毎月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

發賣　料木　標子　木版
塩川商會
遼陽小西門内
盛川商會
●建築
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
洋國營口二本町二五五號
主任　盛川峯吉
（電話一三六番）

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーフル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醤油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

營口永世街第廿八號
白米、●醤油、味噌、木炭、酢、
淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン　其外和洋酒類
大原洋行
（營口無比廉價販賣す）

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

商號
キ　キ　キ　キ　キ
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より
六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス
（電話八八）

宮門抄

二十四日

戶部　宗人府　正白旗值日無引見　順王假滿請安　志公續假五日　溥良由東陵回京請安　靈照柯劭忞伺候

召見　召見軍機　靈照　柯劭忞

代論

法國留學界情形記

中人留學於歐洲。必以程度稍高爲標準。而決非童稚所可行。蓋童年血氣未定。知識初開。往往見異思遷。而且遽進大學。亦不免於躐等。觀於留法學生靳志所卜譯學館書。則法國留學界之情形。可以見矣。茲特節錄如左。

中國在法國之留學生。現有四十人之譜。不惟程度不齊。而漢文通達者甚少。國民思想。尤不發達。蓋西洋學界政界程度□高。未易窺測。故在外者。初不覺有外界之激刺。而徒黠其□室服用之鉅麗。或反惑染習氣。徒務修飾衣冠服用之末節。其他一無所得。所以程度未高之人。決不可令之游學歐洲。因無外界激刺之觀念。則腦筋或至不靈也。欲講國民普通教育者。舍東洋誰與歸乎。陳祖良、本與鄧壽佶、同在加尼小學。剋下雖在中學。據云、尙不如在小學之能獲益。蓋中國人游學歐洲。非徒語言文字之不敷用也。其最苦之處。在無普通科學。陳生法文本優。甲在法語亦佳。所苦者。惟普通科學耳。近來有志之士。多以早進大學爲榮。最爲害事。以文字語言。普通科學。均不足用也。然欲躐進大學。亦甚易易。即如政法。其卒業限期爲兩年。有同文館派來學生某人。在政法大學。則三年。或四年。卒業第一年。第二年。但學而已。不應其學堂之考試。至第三年則仍從頭學起。再應考試。蓋同是一種學。而重複學之也。據云大學考試。亦甚容易。其功課不能全備。所考試者。皆其平日口說之大要。取備考試而已。所謂累齊美也。口說大意。甚爲節略。但能讀至爛熟。即可考取優等文憑。由是言之。則雖曾在外國大學。得有優等文憑者。其學問之優劣亦正未可深信。蓋其人之知識學問。不過熟讀口說之大要。未必有實在用處也。若外國人之在大學者。則不然。其人均自童年。由小學校而中學校。積漸以升。根柢堅固。所學者實也。中國人之在歐洲留學者。多自負其學問之進步。較歐洲人爲捷速。蓋歐人自小學、而中學、而大學其卒業之年限。總在十年以外。而中國人則五六年。即可卒業。歐人視我成功之速。亦相驚以爲神奇。有謂我黃種。實獨具此靈性者。而其實皆不然。不過躐等躁進而已。舍本齊末而已。浮而不實。略而不精。畢非所以爲學也。陳鄧及志深鑒於此。皆不肯躁進大學。致蹈虛浮之弊。恐內地學生。未見及此者尙多。即在日本留學諸君。亦無不以得進大學爲榮。此則賢者之過。深可歎息者也。陳君早欲暢發此旨。俾諸同學。注意科學。預備將來入大學地位。且相與破除謬見。勿徒黠其虛名。此同堂所當留意也。調查法國小學中學課程。大都先注重國文。其次注重科學。而算學自始至終。非常矜重。無論小學中學。其下半日功夫。皆爲習算學用也。至所謂科學。不外歷史、地理、理化、博物、諸科大致與譯學館、現定之學科相同。而道德及法律之大意。則於小學時即已引其端緒。歷史與地之教授法。則先本國而後世界。其種族國界之思想。有以啓發於不覺。非如中國歷史。但以備掌故也。（錄學報未完）

中外要聞

●各公使集議對待派稅務大臣問題　日前英美駐京公使照會外部請仍將各關一切華洋人員歸總稅務司節制一節已誌前報茲聞日前唐少川侍郎因此覆照英美兩使極力駁回略云各省稅關素歸外部節制然近來外部事務忙碌勢難兼顧各關稅務故奏　旨另派稅務大臣將向來外部權限移交稅務大臣辦理耳於總稅務司權限毫無損失之處等語然英使等不以爲然再照會外部聲明向來總稅務司有節制各關華洋人員之權然唐侍郎堅持前議未肯允認因此問題關繫庚子賠款各國駐京公使訂於中曆二十六日上午集議對付之法叱聞光緒二十四年二十六年中國與英德公司訂約借款以爲甲子賠欵該合同內載有中國關稅照舊辦理之語故此次中國政府將各關事務歸稅務大臣節制實係違約行爲須仍照舊歸外部管理將各關華洋人員歸總稅務司節制云又聞外部大員或以此事辦法不協機宜極力反對欲設法通融但唐侍郎等極力堅持未肯云

●提學使赴日本期　上年　朝廷下　明諭廢科學以來學堂漸興教育日進於是裁撤學政仿照東西洋學制新設提學使司會同督撫辦理全省學務簡放學問淵博諳練學務之幹員補授提學使已見　明論學部此次爲振興學務起見擬於提學使未赴任以前派赴日本考察學制以資整頓日前具摺奏請已遵　俞允飭令新簡提學使於下月初十日一律出京前赴日本考察三個月然後赴任按日本自維新以後振興教育以爲百政之基礎悉心經營不留餘力故學制之整頓學堂之完全比較歐美列國有優無劣如提學使諸公赴東悉心考察學務回國赴任之後取法日本整頓學務則我中國學界必有一番發達可刮目以待矣

●中國聲明稅務問題　中國政府對於英美二國欽使覆答中國此次諭旨實爲劃一稅務起見固無廢止現行稅則之意

●俄議邀求六條　俄國議院現向俄皇請求各項權利、一宜頒佈大赦恩詔、二宜對於闔國百姓均與以選舉權並一律撤去其制限、三當軸大臣對於其所爲宜自任其責、四宜修訂法律廢除死刑、五宜改正官制裁撤樞密院、六宜與以結立會社之權利

●中俄勘界不確　現外間傳言有中俄互派委員在新疆伊犁科布多塔爾巴哈台烏里雅蘇台各處與俄連界地方勘查界務之說並謂該問題爲中俄議約中之要點探聞此說不確蓋因與俄連界之邊防將軍大臣年例派員查界是否有更移情事例行奏報而不知者謂係爲勘界起見誤矣

●伍侍郎有退休意　伍侍郎奏請開缺回籍修墓蒙　恩賞假三個月勿庸開缺探其原因伍少司寇係因與政府意見不合自由外部調刑部後意即不適故欲退休聞此次假滿後仍有請開缺之意

●內田欽使回國日期　駐京日使內田康哉君前奉政府命擬出京回國現因經手事務已經辦結擬於二十六日午後二鐘四十分出京赴津換乘輪船次日啓輪回國而使署事務暫由阿部參贊代辦一切按內田欽差由外部次官調任駐京欽使以來茲四年有半矣常以東亞和局爲懷遇事和衷共濟推誠欵洽不但於中日邦交益厚親密亦且於東亞和局頗有裨益然內田欽差奉命回國實可爲中日邦交惜矣

●河南良吏　河南函云臨潁縣張大令嘉良吏也到任以來興學堂整警巡每日坐大堂判詞訟如神公正淸廉頌遍閭邑適西遂匪亂經官兵勦散首惡苗金生吳太三馬龍圖等分逃警黨張大令聞信即帶同兵勇晝夜親赴四鄉搜捕聞前日有會匪在齊大廟勾結聚衆張大令親往擒獲馬龍圖一名搜出黃巾器械等件餘皆聞風星散張大令可謂智邁尋常消患未萌萬民賴之逸安鐵路尤荷保障若西遂得此良吏何致生民塗炭也

雜報

●商棧被回　昨午後四點鐘興順魁北棧不知因何失愼致兆焚如連燒貨屋十餘間內計有大尺淸水套布等三四千件海帶數千捆烟焰漲天瀰漫空際又兼火藉風勢猛烈之至幸經日官彈壓水會水龍等齊往施救黃昏以後始將火勢撲滅據言燒燬貨物損失匪輕云

●貪財買禍　東街元豐棧東李凱臣氏向充奉軍糧弁嗣開該棧諸事任其猶子甲執理昨聞人云月前該院起造樓房衆工曾於地下掘出一匣滿貯十元大手票若干枚李某曾見全行侵奪託言該棧所埋甲素患蹩足遂自顚跛向正金銀行兌授銀圓該行詰其票之由來乃曰他處賣貨得來之項詎該票全屬僞造即被該行執送衙署拷鞫僞票根由迄無端緒迄今尙在羈押云

●行路賣兒　昨有一山東靑州季姓婦年逾不惑帶領二子至双城堡尋夫因無路費在天后宮戲樓後願將小孩賣出作爲行路之資來往行人群動惻隱有助洋一元八角者有三五角者轉瞬計湊五六元之譜該婦向衆叩首而言曰今生難報諸公大德以待來生再爲變還感泣深謝而去

●鏢銀來埠　昨聞埠商所云先前邊外一帶沿路均有馬賊不時出沒恣行搶刧因阻礙寬城子等處不得南運聯銀近來馬賊漸次稀少於是該處諸商連向南運聯銀前日本埠驟行等又從寬城子等處衛送現鏢拾壹萬兩到埠云

叢談

●環遊月球　美國有格致家數人。發一奇想。要打算到月球上去遊玩。想不出妙法。後有一人。用格致法。製造了一個極大的火礮。配用合式的火藥和礮彈。測準月球的軌道。彈中能容三人。隨帶一切應用的物件。礮聲一響。彈子飛升。彈面有玻璃窗。三人在彈內。向外觀看。見有無數的奇異景緻。後被風力吹動。彈路偏斜。不能直入月球中。却離月球很近。脇著風力。便環繞月球一周。所有月中眞相。統通全看得淸淸楚楚。風停。彈落大洋中。有船經過把砲彈撈起。三人從彈中走出。船上人大駭。三人細說遊月的原因。並月中的景象。人人驚爲奇談。便有人把這事。編成小說。名叫環遊月球。看官須知。這類小說。叫做科學小說。雖是寓言。理想却不錯。

NEWCHWANG, THURSDAY, MAY 24, 1906.

The Siamese Prince who visited Japan to attend the Grand Military Review arrived at Antung yesterday afternoon and after two days' stay there, will depart for Mukden.

Mr. and Mrs. Clarke entertained at a dinner last Tuesday evening Lt. Col. Yokura, Mr. Beltchenko, Dr. and Mrs. Daly, Mr. and Mrs. Dunn, Mr. H. F. Bush, and Mr. Masada.

Rev. Mr. Webster is going to leave for Liaoyang to-day on a few days' trip.

Mr. R. Stewart who rode for Mr. H. A. Bush at the Tientsin Spring Races, returned yesterday morning by the s.s. "Amoy." He looked in the best of humour apparently none the worse for the missing of the much coveted honours of championship as Iris's rider by no less narrow a margin than half a neck.

The friends of Mr. and Mrs. Sargent will feel very much relieved to learn that Mrs. Sargent and her son Mr. Clarence Sargent who resided in San Francisco at the time of the recent earthquake have both escaped unhurt.

Mr. Clarence Sargent who is, by the way, a student of the University of California has sent to Newchwang from Berkeley under date of April 20th, a graphic account of the terrible experience himself and his mother had passed through. The letter reached here *via* Seattle only last Monday, bringing with it to their anxious relations the first grateful tidings of their perfect safety.

THE LATEST TOKYO INTELLIGENCE.

After the return of Premier Saionji to Tokyo, meetings between himself, Marquises Ito and Yamagata, and Count Inouye have been very frequent attracting no little attention.

The rumour is current that a sweeping change will take place in the personnel of the Division Commanders, about next July. The long distance submarine telephone between Aomori and Hakodate across the Tsugaru Strait has been installed with satisfactory results.

We are informed to our regret that Mr. H. Friesse who has lately come from Shanghai as Assistant Agent of Messrs. British American Tobacco Co. at Newchwang has had a bad attack of typhoid fever soon after his arrival. The condition of the patient who is in hospital is reported to be quite serious. It is to be hoped however that signs of improvement will soon follow.

Mr. Ying Ta Hsin (應大心) and Mr. Cheng Ping Chun (程秉鈞), engineers of the Hsun Ching Chu (巡警局 the Police Board) Mukden started from the Provincial capital on the 18th last, on the mission of instituting a complete survey of the River Liao, under instructions from H.E. Tartar-Gen Chao Erh Sun. A detail of bodyguard has been attached to them for protection from possible molestations by bandits.

It is learned that telegrams in ciphers are open to acceptance at the Japanese military telegraph offices in South Manchuria, the innovation having been introduced since last Tuesday.

A fire costing Y. 50,750 broke out at 6 last Tuesday afternoon, at a little distance west of Lao Yi Kwo (老義閣) in West Yingkow. A brick warehouse 120 ft. by 24 ft. containing beans, flour, and cotton cloth which belonged to Messrs. Shing Shun Kuei (興順魁), prosperous dealers in a variety of goods has been completely destroyed with all its contents.

The firm had received from Shanghai some days before a large consignment of cotton cloth wrapped in old oil paper and had 300 bales of them piled up in the warehouse. The friction of the combustible wrappers is considered to be responsible for the costly blaze. A heroic fight waged against the raging flames by both Japanese and Chinese firemen was of little avail.

Bar silver has been quoted at 31¼—the highest jump it has yet made.

(*May* 22, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	103 *	LONDON	Bank T.T.	2/1 *
	" Dem'd	103¼ *		" De'd	2/1 1/16 *
	P'ate 15 d/s.	104¼ *		Cr. 4 m/s.	2/1¾ *
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	50¾ *
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	51 *
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr, 4 m/s.	52¾ *
TIENTSIN	Bank T.T.	103¼	Bar silver	- - -	31¼
	" Dem'd	103			
	P'ate 10d/s.	102			

* is Nominal.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之別購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

御料理並ニ温泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）店主　片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）店主　前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　西清門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齊藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

爲替相場（五月二十三日）
日本向　百〇二圓五十錢（一覽拂百圓に付）
上海向　七十一兩四分ノ一（同）
天津向　一百〇三圓八（百弗に付）

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街　永世街觀の場角

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三號　仕松信大巡

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側　温泉付大勉强キレーヂライシヒ（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉雞肉すき燒　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入　奉天大西關（電話）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天十間房　館主　原田新吉（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　駒枝園捷

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　全　七圓五十錢
一全　狀袋　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一西洋　百枚　十二錢以上十八錢
室内装品飾及寢具　矢野洋行
一帶圓　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一疊　一薄様　二圓六十錢以上三圓
一麻縁通　十枚　八圓
一綿縁通　全　一疊敷　三圓　三圓五十錢

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家

御料理　主任　西野怡三郎

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七號　上松榮治郎

古料理　滿月　平野町（電一六二）　滿月支店　平野町入口　店主　青木勝惠

天然清水氷發賣廣告
奉天　毎倉庫約二十五万斤　倉庫儲　特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内　大仁洋行

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門内景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門内　東雙泰
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

長曾龜之進
岩尾伊助
右之者同業組合員に對し物品代金不拂に付組合規約に依り爾後組合員中は該人と取引を遮絶す
明治三十九年五月
營口材木商組合

一和洋御料理　遼東館
遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館御料理　扶桑館　奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

DIVING
INOUYE & CO.
Engaging to the work on the wreck of the "Yatsunamaru."
No. 166 Yuwansinmiao, Yingkow.

井上組潛水部
現今八綱丸引揚作業中傍ら一般潛水作業の需に應す
元神廟前一六六號

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號　北斗洋行質屋部

產婆　川口榮子　營口永世街甲第百〇三号　第二市場停車場西側

北支那叢書第壹編　支那政府組織　全　定價一圓
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

各國高等雜貨　電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍數品澤山
營口永世街　川友洋行雜貨部

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト
スペシヤルラヰトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

營口永世街　回天堂三木大藥房
存案　天　招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●其外醫藥應用所有一切貨應俱全
（電話百九十番）
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤耑此佈告

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　九弗六十仙